

吹田市シェアサイクル事業について

(1)概要

シェアサイクルは、エリア内に複数のポート(自転車の貸出、返却場所)を配置し、どのポートでも電動自転車の利用が可能な短時間・短距離の移動を目的としたもので、吹田市では「吹田市自転車利用環境整備計画」に位置づけられています。

令和3年1月から令和7年(2025年)3月31日まで実証実験を実施し、令和7年4月より吹田市の事業として本格実施いたします。

実施事業者につきましては、公募型プロポーザル方式にて提案事業者を募りました。事業者からの事業提案書の提出及び選定委員会によるヒアリングの結果、最優秀提案事業者として実証実験と同様の HELLO CYCLING を運営している OpenStreet(株)が選定されました。



阪急山田駅前東駐輪場

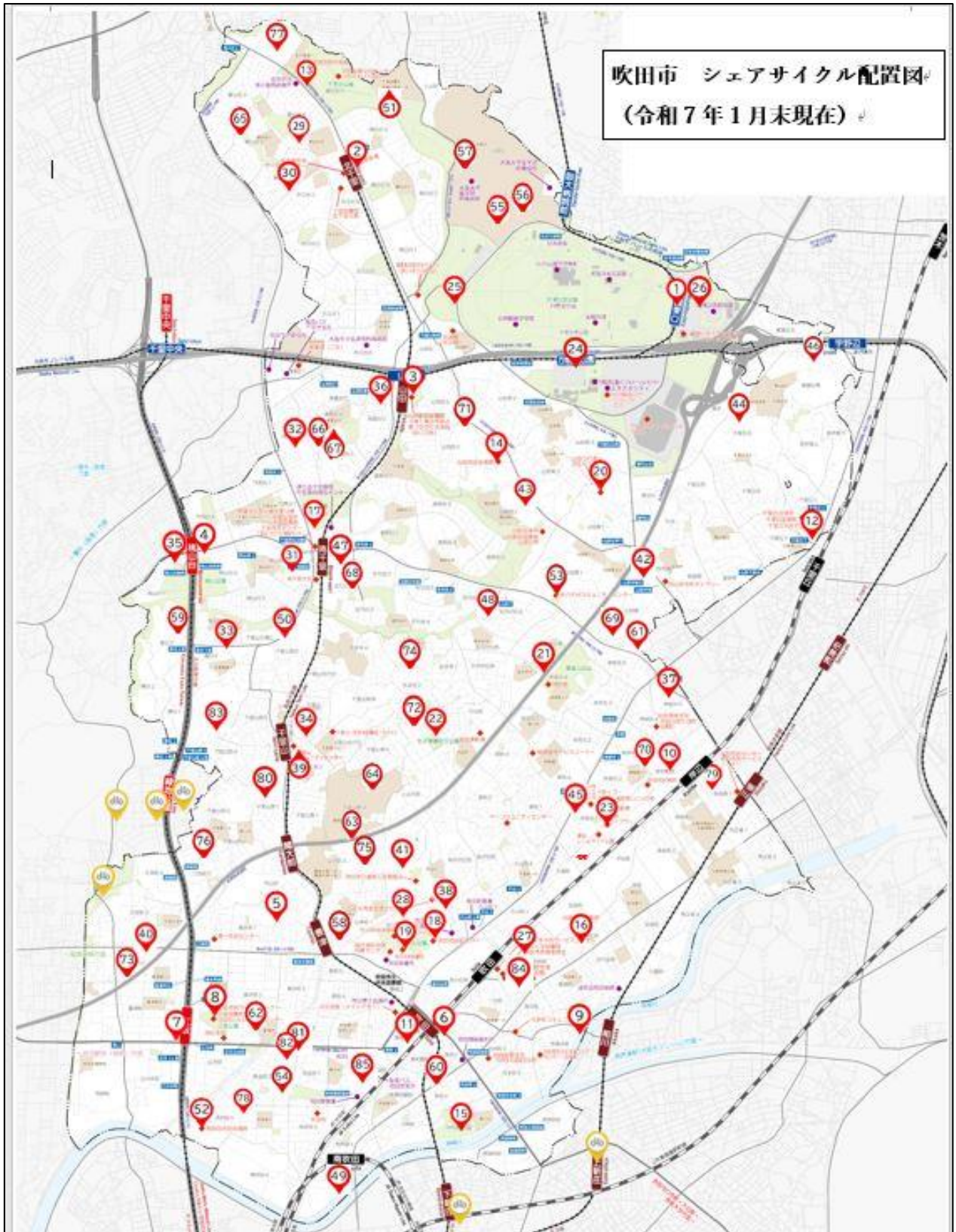
(2)導入目的

- ① 公共交通機関と連結し東西の移動を補完する
- ② バス路線で補えない小回りの利く交通手段、地域の回遊性向上
- ③ 違法駐輪を減らし、地域の美化、歩道の安全性を高める
- ④ 通勤、通学の時間短縮と健康の増進、二酸化炭素排出の抑制
- ⑤ 災害時、鉄道の不通、交通集中により移動が困難な場合の移動手段
- ⑥ コロナウィルス対策として「3つの密」を回避する移動手段

(3) シェアサイクルポート及びラック数の推移

年度	ポート数(箇所)	ラック数(台)
令和3年	35	242
令和4年	59	442
令和5年	64	465
令和7年1月現在	85	617

吹田市 シェアサイクル配置図
(令和7年1月末現在)



1 大阪モノレール公園東口駅	16 吹田市立目黒市民体育館	31 UR賃貸住宅 千里山台(東谷南西側)	46 ファミリーマート吹田高岸丘店	61 ソフトバンク交の子谷	76 ダンロップスポーツクラブ江坂店
2 阪急北千里駅前東第1駐輪場	17 千里南公園	32 UR賃貸住宅 千里津雲台(東谷南西側)	47 阪急南千里駅	62 アパルトマンクシース江坂	77 レ・シェイドシティ千里御台1 (A街区:サウスレジデンス)
3 阪急山田駅前東駐輪場	18 吹田市立男女共同参画センター	33 UR賃貸住宅 千里春日台(4号線西側)	48 ファミリーマート吹田五月が丘北店	63 関西大学 名神上駐輪場エリア	78 南吹田ハイツ
4 北大阪急行橋山台駅前東第2駐輪場	19 吹田市立中央図書館	34 UR賃貸住宅 千里山(千里1号線西側)	49 ビーズ南吹田駅	64 関西大学8号門入口付近	79 サイプレスone
5 阪急豊津駅前南第2駐輪場	20 吹田市立山田ふれあい文化センター	35 UR賃貸住宅 千里橋山(バスロータリー付近)	50 テニススクール・ノア 大阪南千里校	65 OPH千里西山台	80 近畿ハウジング前
6 阪急吹田駅前南駐輪場	21 紫金山公園	36 patonaグローバルビレッジ津雲台	51 千里金輪大学	66 OPH南千里津雲台1	81 中央社 北
7 江坂駅前中央駐輪場	22 佐井寺南が丘公園	37 吹田SST	52 南吹田市民体育館	67 OPH南千里津雲台2	82 中央社 南
8 江坂公園駐輪場	23 吹田市立健康ライブラリー	38 吹田グリーンプレイス	53 交の子谷コミュニティセンター	68 OPH千里佐竹公園	83 メリーヒル緑地公園
9 南高森駐輪場	24 万博記念公園駅下	39 BiVi千里山	54 SUNNY SPACE SHAPE (サニースペースシェア)	69 関西大学 吹田みらいキャンパス	84 朝日パーキング
10 J R岸辺駅前北駐輪場	25 万博記念公園西口下	40 ファミリーマート江坂二丁目店	55 大阪大学吹田キャンパス体育館	70 ビエラコート岸部中	85 クレステージ吹田
11 市役所正面玄関前	26 万博記念公園東口駅前広場	41 ファミリーマート吹田山手町西丁目店	56 大阪大学吹田キャンパス本部福利会館	71 ガーデンサイド王子	
12 吹田市立千早丘市民センター	27 敷島住宅 JJA(昭和町)	42 ファミリーマート吹田山田南店	57 大阪大学吹田キャンパス千里門	72 ダイワサイクル吹田佐井寺店	
13 吹田市立北千里市民体育館	28 UR賃貸住宅 片山公園(C4号線西側)	43 ファミリーマート吹田山田西店	58 関西みらい銀行 豊津支店	73 TOYOTSU BASE	
14 吹田市立山田市民体育館	29 UR賃貸住宅 千里南台(C11号線西側)	44 ファミリーマート吹田千里丘北店	59 フランツ緑地	74 アイティ千里山	
15 中の島スポーツグラウンド	30 UR賃貸住宅 千里南台(C64号線西側)	45 ファミリーマート岸部中店	60 (株)あさひ 吹田オフィス	75 アイティ関大前V	

※掲載された情報は2025年1月末時点のものです。

(4)公共交通の補完について

当初、本市でシェアサイクル導入に伴い従来、公共交通機関を利用されていた方が、シェアサイクルに移動手段を変更されることにより、各交通機関の乗客数減・収入減に大きく影響するのではないかと考えられたことから、アンケートによって利用実態を調査いたしました。

アンケート概要

対象者 :16,934 名※1

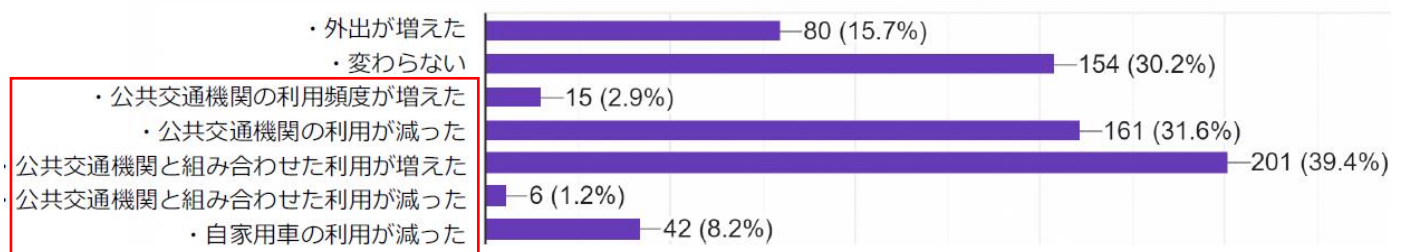
回答者 :510 名

回答期間 :2024 年 3 月 15 日(金)～ 2024 年 3 月 29 日(金)

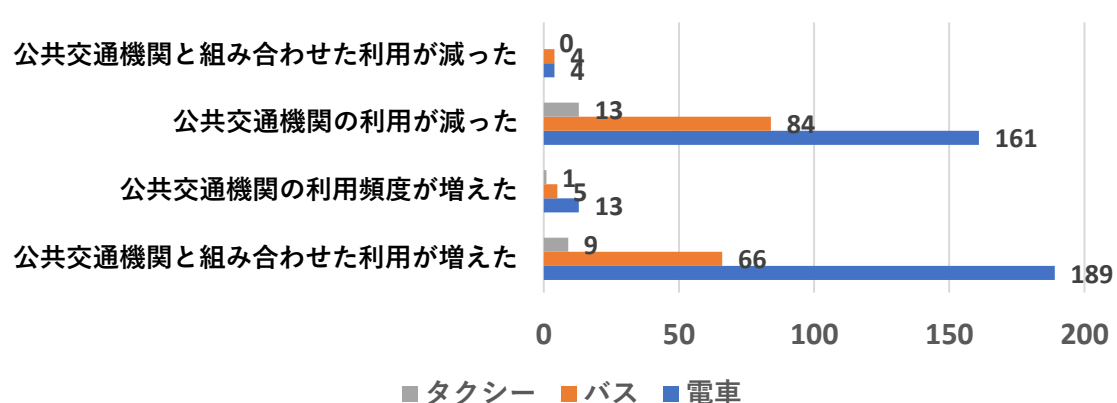
※1 2023 年 1 月～12 月の間に吹田市で HELLO CYCLING をネイティブアプリから利用したユーザ

〔Q5〕シェアサイクルの利用開始前と比較した自身の行動の変化（複数回答）

510 件の回答



クロスデータ集計結果（複数回答有）



実証実験を開始して以降、公共交通機関各社からシェアサイクルが利用者数に大きな影響を与えているという声はございませんでした。

また、シェアサイクルによって公共交通の利用が減ったという回答があるものの、同様に公共交通と組み合わせた利用が増えたという意見があり、市内の移動手段を選択できるようになったと考えております。

したがって、シェアサイクルは公共交通機関に「とって代わる」ものではなく、「共存できる」移動ツールであるとともに、時間や移動手段として公共交通機関を補完する役割を担うものと考えております。